

# 令和5年度 ライフプランニング学習副読本 『考えようふるさと秋田とわたしの未来』（中学生用） 活用状況調査集計結果

調査対象：県内中学校 103校（国立大学法人立：1校、県立：3校、市町村立：99校）  
県内義務教育学校・後期課程 3校（市町村立：3校） ※分校を含む。

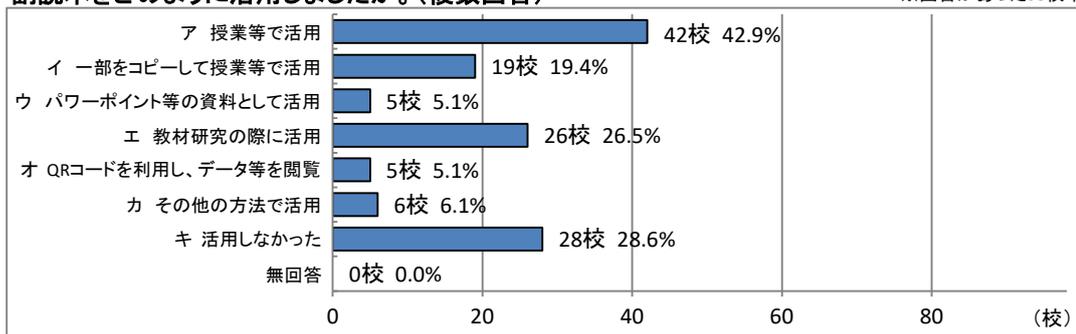
※義務教育学校については、便宜上、おおむね後期課程における中学生用副読本の活用状況をこの票に、おおむね前期課程における小学生用副読本の活用状況を小学生用の集計結果の票に合算して集計しています。  
そのため、義務教育学校3校分が小学生用・中学生用の集計結果にそれぞれ計上されています。

◎回答率 92.5%（回答98校／対象106校）

◎活用率 71.4%（活用70校／回答98校）

## 問1 副読本をどのように活用しましたか。（複数回答）

※回答があった98校中



活用方法「カ その他の方法で活用」の主な回答（類似の回答を統合し、主旨を簡略表記している。以下同じ。）

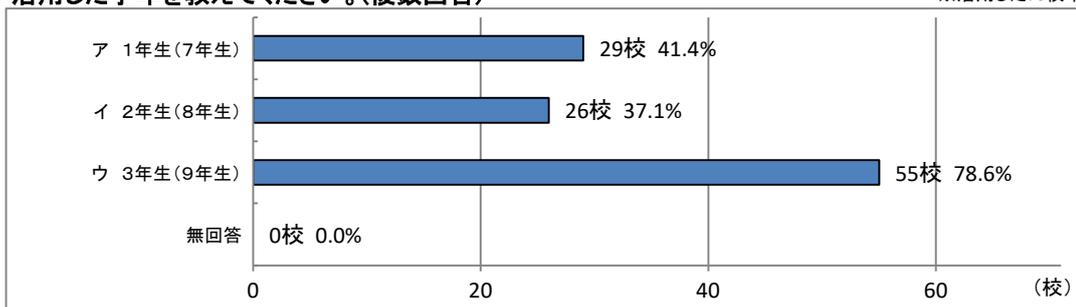
- ・朝読書、学活の時間に各自で読ませた。
- ・学習支援アプリMetaMojiで生徒に配信して参考資料とした。
- ・学級活動で配布して内容を確認し、家庭で読ませることとした。
- ・持ち帰らせ、各家庭で読ませることとした。

活用状況「キ 活用しなかった」の主な理由

- ・同趣旨の他の教材、補助教材、資料、題材、キャリアノート等を使用し、十分対応できているため。
- ・指導計画中の位置付け、時間設定の難等から年間指導計画に組み込んだ立案ができなかった。
- ・休校や行事で活用する時間、ゆとり、機会等がなかった。
- ・副読本の周知がされていなかった。
- ・参考資料として配布のみとした。

## 問2 活用した学年を教えてください。（複数回答）

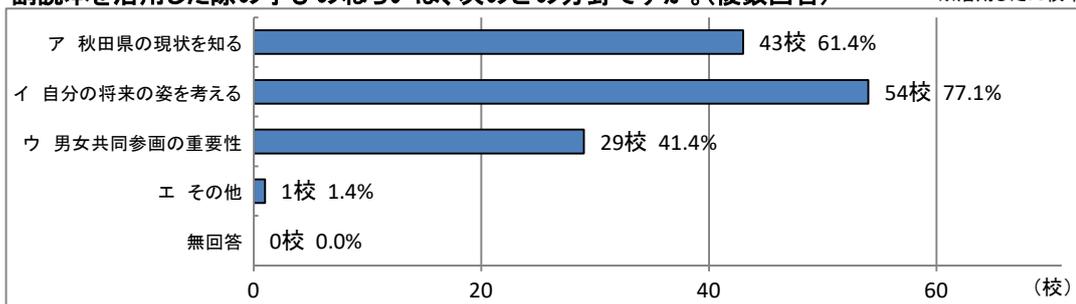
※活用した70校中



※( )内は、義務教育学校における学年

## 問3 副読本を活用した際の学びのねらいは、次のどの分野ですか。（複数回答）

※活用した70校中



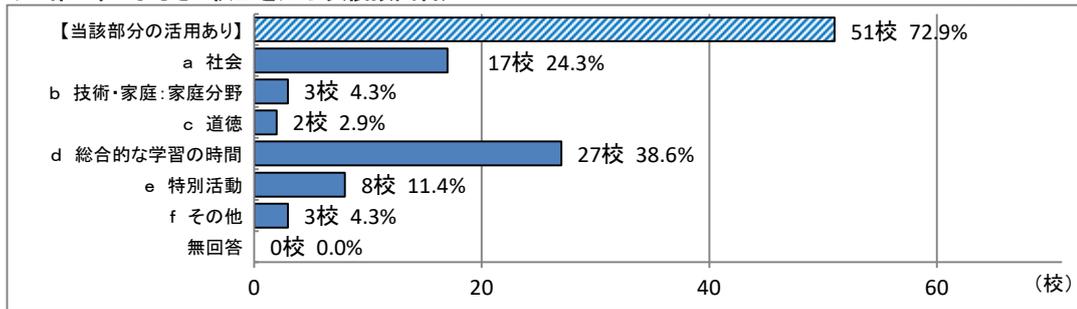
学びのねらいの分野「エ その他」の主な回答

- ・他者との望ましい人間関係づくり、共感的な対応の仕方

問4 副読本のどの部分を、どのような場面で活用しましたか。

ア 第1章 ふるさと秋田を知ろう(複数回答)

※活用した70校中

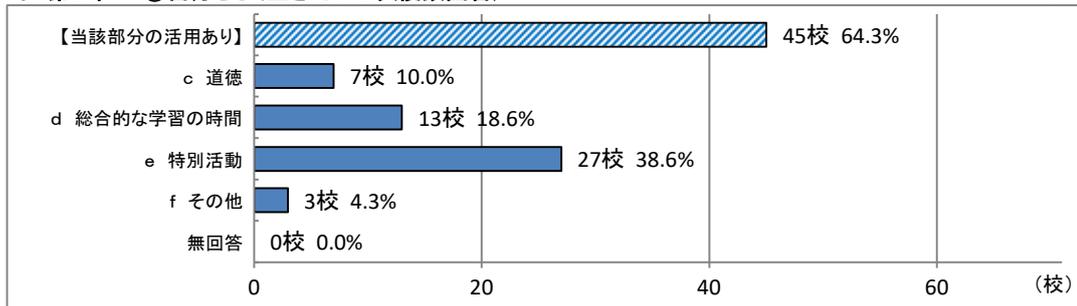


活用場面「f その他」の主な回答

- ・技術・家庭：技術分野
- ・朝読書、家庭での読書

イ 第2章 ①自分らしく生きていこう(複数回答)

※活用した70校中

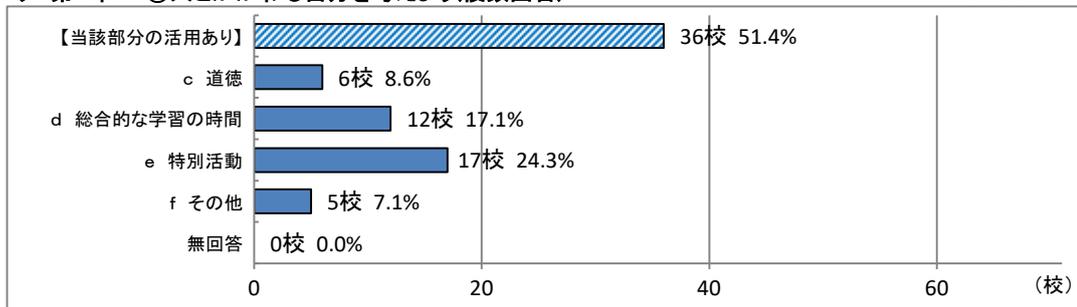


活用場面「f その他」の主な回答

- ・特別支援学級の自立活動
- ・朝読書、家庭での読書

ウ 第2章 ②人とかかわる自分を考えよう(複数回答)

※活用した70校中

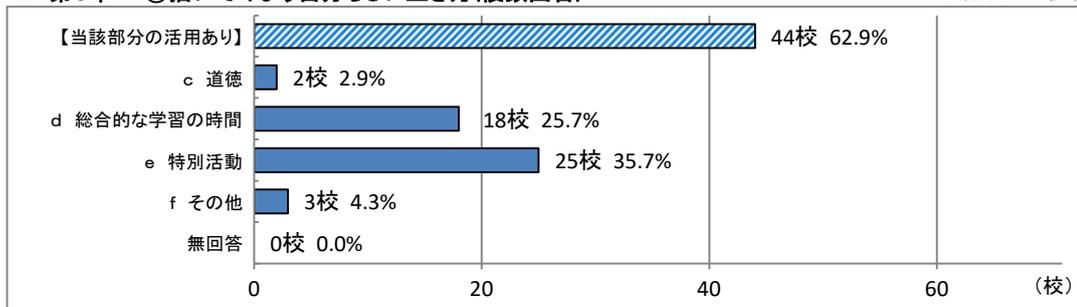


活用場面「f その他」の主な回答

- ・社会、技術・家庭：家庭分野の授業
- ・朝読書、家庭での読書

エ 第3章 ①描いてみよう自分らしい生き方(複数回答)

※活用した70校中

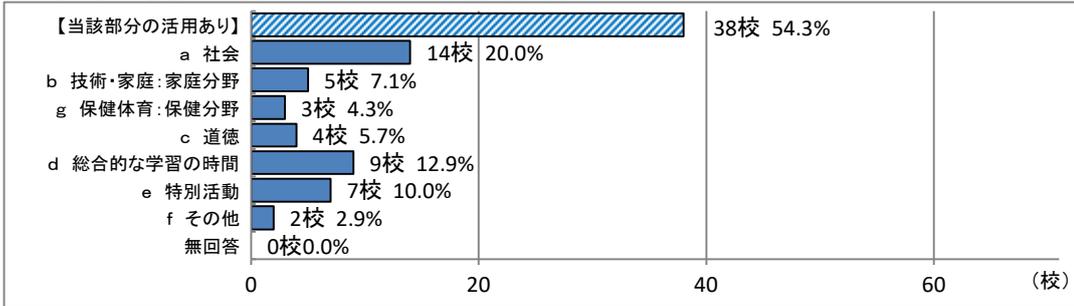


活用場面「f その他」の主な回答

- ・朝読書、家庭での読書

オ 第3章 ②男女が協力して生きていくこと(複数回答)

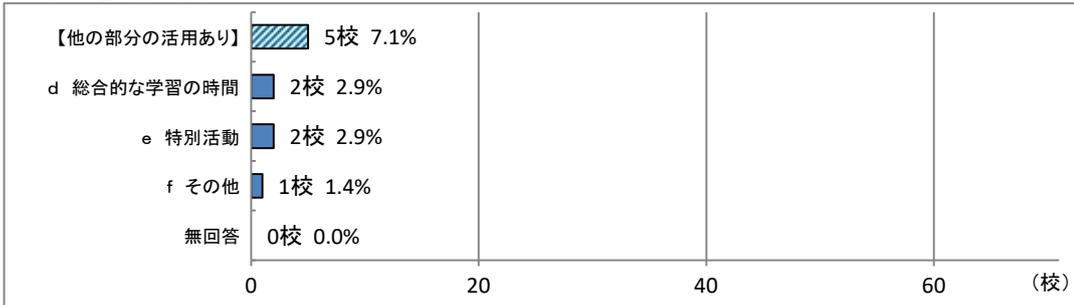
※活用した70校中



活用場面「f その他」の主な回答は、問4のエと同様

カ その他(複数回答)

※活用した70校中

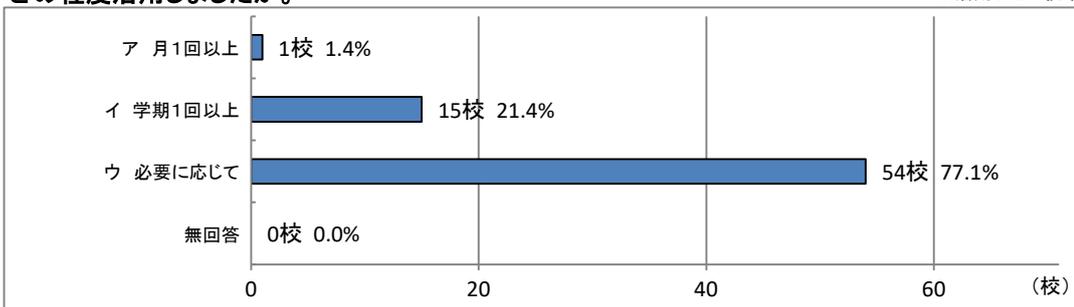


活用部分「カ その他」の主な回答  
・裏表紙の相談窓口一覧

活用場面「f その他」の主な回答  
・家庭への持ち帰り

問5 どの程度活用しましたか。

※活用した70校中



「ア 月1回以上」の活用頻度

※「ア 月1回以上」の回答1校中

活用頻度	校数
一月当たり1回程度	0校
一月当たり2回程度	0校
一月当たり3回程度・それ以上	1校

「イ 学期1回以上」の活用頻度

※「イ 学期1回以上」の回答15校中

活用頻度	2学期制の学校	3学期制の学校
一学期当たり1回程度	6校	4校
一学期当たり2回程度	3校	1校
一学期当たり3回程度・それ以上	1校	0校

「ウ 必要に応じて」の活用頻度

※「ウ 必要に応じて」の回答52校中(年間頻度無回答2校を除外)

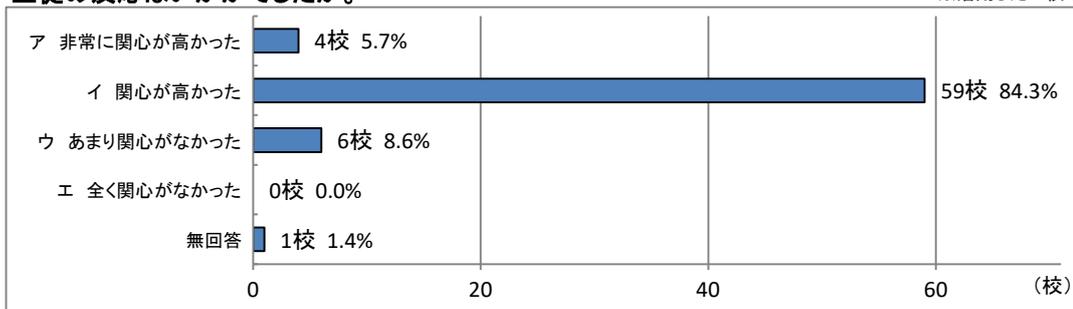
活用頻度	校数
年間1回程度	15校
年間2回程度	14校
年間3回程度	12校
年間4回程度	1校
年間5回程度・それ以上	10校

「ウ 必要に応じて」活用した学校での活用機会等についての主な回答

- ・各教科の関連単元の授業で、参考資料等として活用
- ・総合的な学習の時間(地域学習ほか)で活用
- ・学級活動で活用
- ・進路学習で活用

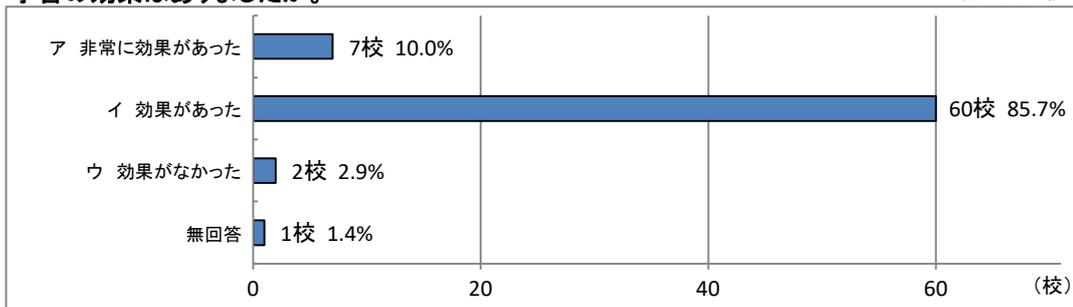
問6 生徒の反応はいかがでしたか。

※活用した70校中



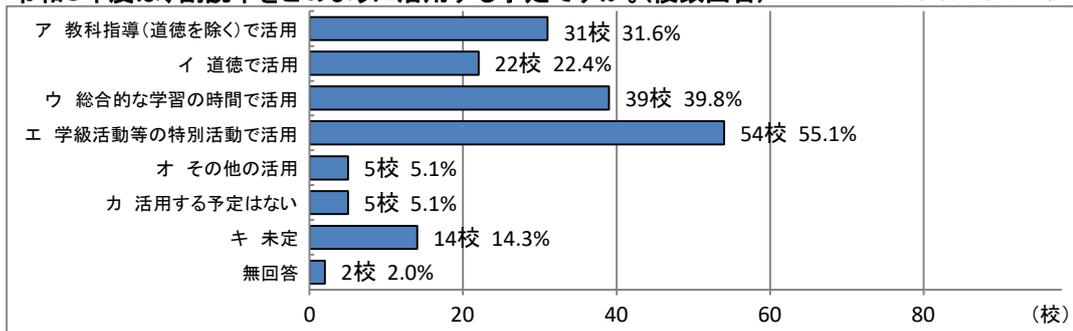
問7 学習の効果はありましたか。

※活用した70校中



問8 令和6年度は、副読本をどのように活用する予定ですか。(複数回答)

※回答があった98校中



活用方法「オ その他の活用」の主な回答

- ・特別支援学級の自立活動
- ・長期休業時の課題

問9 副読本の内容等についての感想、意見等を自由に記入してください。

添付「問9 副読本の内容等についての感想、意見等(中学校)」を参照

問9 副読本の内容等についての感想、意見等（中学校）

主に副読本の内容に関する感想、意見等
参考になりました。
内容が多いので、すべてを学習するには授業時数の関係で難しいと思いました。3月頃に時間の余裕を見つけ学習したいと思っています。
第2章、第3章は、自分、周りの人、将来の職業、自分の未来と段階的で進路指導にとてもよいと思いました。
秋田県が1位のものなど、知らないこともあり勉強になりました。逆に課題となっているものも、端的にこれが順位が低い、と目立つように出した方がわかりやすいです。そして、そういった具体的なものを手がかりにして内容に踏み込んでいくような構成にできると、生徒が考えやすいと思います。県の現状、自分の将来、男女共同参画、と1つ1つの内容にもう少し関連をもたせられると良いかもしれません。 イラストの人物などがアニメ風のキャラクターだと生徒の興味が高まると思います。 数年後に全国の公立学校の校務支援システムが統一されます。県のシステムと何らかの方法でつながるようにして、先生方に直接活用をお願いする、と言うようなことも可能になれば良いのですが・・・。
内容も精選されており、質も量も中学生に取り組みやすいものでした。
秋田県の人口動態について、グラフでわかりやすく学ぶことができました。
とても、読みやすくまとめられており、生徒が活動する上で大いに役立つものとなりました。社会科はもちろんのこと、自分の進路を考える活動においても十分に活用できるものであると感じました。秋田県の現状についても丁寧にまとめられており、社会的な興味関心を高める上でも効果があると感じました。また、道徳の資料としても活用できるものであると感じました。より一層活用する機会を増やしていくことができるように、計画を立てて活用していきたいと思います。
資料（グラフ、写真等）が新しくよい。 ページ余白が大きいことと、文字が大きいことで見やすいと。生徒が利用しやすい。 文字の色が見にくいところもある。緑系の色は、見にくい。 副読本が多数あり、その利用、活用の仕方については、学校で検討していきたいと思います。積極的に活用できるよう、計画を立てる必要があると考えています。
とても大切な内容である。 副読本ではあるが、表面をなぞる程度の学習ではなく、パンフレット活用のねらいに則して丁寧に学習するには、年間計画の中から新たに時数を生み出すことが難しかった。
秋田県のキャリアノートと内容が重複する箇所があります（活用の計画に至らなかった理由でもあります）。総合的な学習の時間に「ふるさと秋田をよく知ろう」等の探究活動計画で活用していきたいと思います。
「中学生活と進路」など内容の似ている教材を使用しているが、それぞれのよさを生かしながら、生徒に使わせることで、学習に役立てたいと思います。
このままでお願いいたします。
キャリアノートの内容と似ている部分があるので、それが改善されれば使用用途が増えると思います。
内容が素晴らしく、使いやすい教材なので、時間を捻出して活用したい。
ポイントがコンパクトにまとまっていて、活用しやすいと感じました。
本校では主に「自分の未来を考えよう」の章で、「なりたい職業」や「将来、働いている場所」をイメージしながら活用させていただいた。また、秋田県の出生率や人口動向、男性の家事・育児時間の資料など、具体的な数字や割合を、統計的にグラフで一気に見ることができ、生徒にとって現状を把握しやすい資料だったと思います。
とてもよく練られた内容で、充実している副読本であると思います。PTA等での活用も可能であり、内容を周知することで、利用する先生方も増えると考えます。
社会科の資料としても活用できる部分があると感じました。
主に副読本の活用や配布形態に関する感想、意見等
前年度のうちに、次年度の授業の年間指導計画を組んでいるため、授業で取り扱うことは難しいと感じます。
授業で活用しましたが、副読本だけでなく、ワークシートも活用しやすい構成となっていたので、3年を想定した配付でしたが、配付の対象・時期を早めることで、1、2年生でも活用できると感じました。
副読本をどのように扱うか、発問や授業展開などの例示が詳しく付いているとうれしいです。
メタモジ等タブレット上で使うことができると活用しやすい。
各学年の総合的な学習の時間の地域調査の資料として学級へ配付しました。 次年度は、第2、3章も学活等で活用していきたいと思っています。

## 問9 副読本の内容等についての感想、意見等（中学校）

自分らしさを発見と自己PRカードは＝特活で担当者（担任）がワークシートをアレンジして活用できた。
今年度これまでに、技術・家庭科の授業の中で取り上げることができなかった。次年度は、社会科・特別活動・道徳・総合的な学習の時間・保健体育・技術家庭科など、教科横断的にねらいにそった取組を行ったり、2年生・3年生と指導内容を吟味し系統立てて取り組ませていきたい。
活用する教科、領域の計画段階で知っている必要がありますが、校内の教員に周知の徹底が足りなかった。活用するかを決定する場面で、選択肢として周知する必要があると反省している。
男女雇用機会均等法や男女共同参画社会推進法などの、社会科の公民分野の授業に役立った。社会科との親和性は高いが、その他の教科、活動でも活用できると思うので、そこを考えて行き、来年度の活用に活かしたい。
他の資料を活用して授業をする場面がほとんどであり、この副読本を活用することができていないのが現状です。
時数も限られていることから、教科等の指導内容と本誌で取り上げられている内容とを照合し、生徒の実態に応じて効果的に活用していきたいと考えている。
主に特別活動（学活）と総合的な学習の時間で活用させていただいております。
副読本をお送りいただく時期ですが、新年度になってから（4月）に設定していただけるとありがたいと思います。
学校の教科書以外に、身近な地域の現状を知ったり、身に付けなければならないことがわかったりできる充実した内容の副読本であり、有効活用させていただいた。社会科や道徳の教科、総合的な学習の時間等において6年度も是非活用していきたい。
今後は副読本の活用を考えていきたいと思います。